

7月のミッション

※2020年度の行事日程は一部変更があります。



| 中学 | 演劇コンクール

舞台装置や衣装、時には脚本まで生徒たちの手で作っているこの行事。2週間という準備期間で、クラスがひとつとなって稽古に励み、表現力を高めます。



| 高校 | 野球部全校応援

高等学校野球石川県大会に、毎年全校生徒と教員で応援をしに行っています。当日までに応援歌や振付を何度も練習し、仲間をみんなまで応援します。

Mission Standard 2030

ミッションスタンダード

今年度より北陸学院全体で「Mission Standard2030」を掲げました。
これは、聖書の教えを土台にOECD（経済協力開発機構）やSDGs（持続可能な開発目標）の試みも踏まえ、2030年に向かう時代の教育的アプローチを示したものです。
幼稚園から小学校、中学校、高等学校、大学・短期大学部へと継続する教育を進めながら、時代が変わっても変わることのない「普遍的な真理」を土台に、時代の変化に柔軟に対応し、チャレンジする教育を追求していきます。



人格 「愛」「希望」「責任」「良心」「情熱」など22個の力。	知 「言語力」「創造力」「探究力」など9つの知性。
力 「柔軟性」「独創性」「対話力」「サポート力」など10個のスキル。	心と体 リズムある生活スタイルにより心と体を形成する習慣。



本記事で紹介した「ミッションスタンダード2030」を、北陸学院のWebサイトでも公開しています。ぜひ、ご覧ください。

ミッションスタンダード2030 検索

<https://www.hokurikugakuin.ac.jp/top/mission-standard/>



北陸学院中学校・高等学校 校長

堀岡 満喜子

Makiko Horioka

京都府出身。同志社大学神学部を卒業後、牧師やキリスト教学校で働く教務教師を養成する東京神学大学に進み、チャプレンとして活動。1998年に北陸学院中・高に教員として着任、2005年まで勤務。いったん家庭に入った後2013年に復職、宗教主事に着任しキリスト教教育に携わる。2017年より中学校・高等学校校長。

大切な「このひとり」を
愛する人格教育を

パブリシティー企画

Hokuriku Gakuin
Junior & Senior High School

北 陸 学 院
中学・高等学校

教員インタビュー vol.1

人 格 教 育

「ミッション」の名で親しまれている北陸学院は、幼稚園から大学までを備える総合学園です。1885明治18年の創立以降、キリスト教に根ざした全人格的な教育に尽力。時代の変化にも柔軟に対応しながら、教育方針「勉強プラスもうひとつ」の下、かけがえのない一人を見つめ、それぞれにふさわしい進路を見出す指導を実践しています。本号では、堀岡中学校長に、同校の教育の特長や代表的な取り組みをご紹介します。

「このひとり」を大切に

北陸学院は、キリスト教を土台とした人格教育、いわば「人間を丸ごと大事にする教育」を行っている学校です。人間は、自分が愛され、喜ばれていることに気づくと、自分自身を受け入れられるようになります。そして、周りの人のために生きることにも喜びを感じるようになっていきます。

それゆえに本校では、生徒一人ひとりがかげがえのない人格として見つめながら、それぞれに与えられている力（賜物）を見出して磨き、その人にふさわしい進路へと促す指導に力を入れています。言い換えるなら、スクールモットー「Realize Your Mission」を実現できる「ひとりの人」の育成を、創設以来進めてきたのです。

「まるごと」の人格教育を

人格教育のベースとなる毎朝の礼拝は、神さまの前で自らの内面に正直に向き合いながら、人格の素地を養う時間となっています。心を落ち着けて聖書の言葉からメッセージを聴く中で、哲学にも通じる人生観や社会の課題などにも視野を広げ、あるいは、人間関係の葛藤や心の悩みについて考えたりもします。毎朝、20分。3年間、繰り返すことに

大きな意味があると感じています。

また、教育方針「勉強プラスもうひとつ」も、本校の特徴的な取り組みです。勉強だけ、あるいはスポーツだけという従来型の偏重教育ではなく、部活動や習い事などの「もう一つ」に一生懸命打ち込む体験を重ねる中で、「知」「力」「心と体」を総合的に育成しています。

昨年度には中学校に軟式野球部を新設、高校では生徒の自発的な企画をきっかけに男子フットサル同好会や男子バレーボール同好会が活動を開始しました。各自の個性に合った体験機会を多様に提供することで、充実した学校生活が実現し、一人ひとりが大きく成長することを願っています。

心を開く国際理解教育を

本校はまた国際理解教育にも注力しています。国際理解教育というと、一般的には「語学力の向上」が重視されがちです。もちろん語学力は重要ですが、それはあくまでも一部に過ぎず、私たちは「すべての人に開かれた心」（オープンマインド）の育成こそが大事だと捉えています。国内外を問わず誰に対しても開かれた、受容力と自己表現する力を育てたいと思っています。

世界には多様な文化があり、考え方や生き

方もさまざま。軽率に批判したり、十分な理解なしで判断したりせず、心を開いて共生することが大切で、それには練習が必要です。多様な人に出会い、話を聞き、葛藤や違和感を繰り返して考え直し、受け入れる努力を続けなければなりません。

そうした機会をできるだけ多く提供できるように、本校では教育プログラムのさらなる充実化に努めています。中学校では修学旅行先を海外とする他、中高で新たに3カ月間のターム留学も決定、情勢が落ち着き次第始める予定です。

世界の課題に対応できる人に

想定外の出来事が多発する今日、世界は教育に、予測不能な局面にも対応できる人間の養成を求めるようになってきました。日本でも「新学習指導要領」の下で大学入試改革がスタート、「知識・技能」ばかりでなく、「人間性」や「思考力・判断力・表現力」が問われる時代となっています。

このような状況を踏まえて北陸学院は今年、2030年に向かう時代の指針となる「ミッションスタンダード2030」を策定しました。聖書という歴史を貫いて「変わらない」「真理を土台に」「変わりゆく」時代とも対話をしながら作ったもので、世界の諸課題に真摯に対峙できる人の養成を目指して、幼稚園から大学までの継続教育プログラムの構造を示しています。プログラムのバトンは幼稚園から小学校への一貫した流れの中で渡され、中高時代を走り、短期大学部・大学へとひきつがれます。

具体的には、教科指導・諸行事の目的・内容・考え方の共通性・継続性です。例えば、国際理

解教育であれば、小学校でオーストラリア、中学校でアメリカ、高校でカナダの姉妹校への海外研修へと継続されていきます。また、ボランティアであれば、幼稚園から大学に至るまで花の日や収穫感謝の日と呼ばれるキリスト教会の伝統的な行事を通して、ボランティアな人格を深めています。

レインコートの寄付で応援

新型コロナウイルスの問題では、これまで大事にしてきたことが改めて問われたように感じています。大学の「よりそいの花プロジェクト」と中高が合同で、医療用ガウンの代用となるレインコートを緊急募集。集まった6000枚以上にメッセージも添え、医療従事者に応援と感謝の気持ちを届けました。「人を大事に思うこと」は本校の心だからです。

また休校に際しては、生徒たちに「今しかできないこと、学べないことがある。読書やニュースから社会をじっくり見て学んでほしい」と伝えるとともに、落ち着いて生活してほしいとの思いから、家庭学習向けの配信では一番はじめに「礼拝」の動画を送りました。

4月中は課題を各自に渡してやり取りしてきましたが、今では学習支援ツールである「Classi」や「Google Classroom」を活用した動画配信授業も進めています。そして、「勉強プラスもうひとつ」を家庭で生徒がそれぞれに考え、行動していくればと願っていました。

学校は、一人ひとりが持つ可能性を切り拓き、未来を描くための場所。ぜひミッションで、あなたならではの物語を紡いでみませんか？

北陸学院中学校
北陸学院高等学校

〒920-8563 金沢市飛梅町 1-10
中学／TEL.076-262-3012 FAX.076-262-3096
高校／TEL.076-221-1944 FAX.076-224-4398



月刊北國アクタス2020年7月号掲載記事

<https://www.hokurikugakuin.ac.jp/sj/>

Realize Your Mission
あなたの使命を実現しよう

北陸学院中学校からのお知らせ

Hokuriku Gakuin Junior High School

TOPICS.1

2020年度入学生から導入 スカラシップ奨学金

以下成績優秀者の3年間の授業料を無償※¹とします。

- ①本校の入学試験で4教科※²の合計点が225点以上の入学者
- ②本校の授業料が3年間免除※³



※1:入学金や教科書代、副教材代、修学旅行費などは含まれません。
 ※2:4教科(国語100、数学100、理科50、社会50)の合計300点
 ※3:スカラシップ奨学金制度は、入学後、著しい成績不振等により打ち切り・中断になることもあります。

TOPICS.2



修学旅行がシンガポール・マレーシアに!

日頃の授業・行事から国際理解を深める取り組みが多いのがミッション。学校で知識として取り入れ、さらに、実際に自分の目で確かめられる機会として海外修学旅行を設けました。生徒全員が「世界の中にいる自分」を実体験できます。
 (2020年度入学生から実施)

TOPICS.3



強く、雄々しくあれ 軟式野球部の新設

本校のスクールモットーは“勉強プラスもうひとつ”。この“もうひとつ”の中心的なものに「部活動教育」があります。新設野球部は、「野球」が自分自身の“もうひとつ”だと胸を張って言える取り組みを目指します。学校の部活動でしか体験できない充実感を味わい、教室とグラウンドでの「学び」を大切に、勉強をしっかりとしながら中学校→高校→さらに大学以後も続けられるような野球を活動方針とします。

活動日程:火・木・金・土・日
 活動場所:北陸学院三小牛グラウンド、屋内練習場・校内施設、近隣グラウンド



ミッション中学校
 野球部の歴史を
 一緒に拓こう!

野球部体験会時の様子

北陸学院高等学校からのお知らせ

Hokuriku Gakuin Senior High School

TOPICS.1

本校独自の制度 スカラシップ奨学金

以下成績優秀者の3年間の授業料を無償※¹とします。※²

- ①本校の入学試験で5教科の合計点が400点以上の入学者
- ②本校を推薦入試(専願・併願とも)で受験し合格した者のうち、3年次の9教科評定の合計が本校の定める基準以上の入学者
- ①②ともに特別進学コース・総合進学コースどちらのコースを受験した場合も適用されます。

※1:入学金や教科書代、副教材代、修学旅行費などは含まれません。
 ※2:スカラシップ奨学金制度は、入学後、著しい成績不振等により打ち切り・中断となることもあります。



TOPICS.2

制度が変わります 高等学校等就学支援金

世帯年収590万円未満の生徒の授業料が無償となります※

2020年4月から制度が変わり、私立高校等に通う生徒の「高等学校等就学支援金」の上限額引き上げが行われます。

※ 世帯年収590万円以上910万円未満の生徒の授業料は、年間約12万円が軽減されます。



TOPICS.3

憧れの難関私立大学へ 豊富な特別推薦枠

本校は同志社大学に14名、関西学院大学に21名、明治学院大学に6名の特別推薦枠を有しています。実際、2020年度入試結果においても、同志社大学に9名、関西学院大学に15名、明治学院大学に6名の合格者を輩出。他にも全国におよそ140大学・約700名の指定校推薦枠を有しています。

※ 募集枠は毎年変更があります。詳しい指定校一覧はHPよりご確認ください。

国際理解教育が
さらにパワーアップ!

明治のはじめに宣教師メリー・K・ヘッセルが北陸学院を創立して以来、国際理解教育に力を入れてきました。2021年度からは、希望者向けの研修・留学制度をさらに充実させます。感性が鋭い10代に異文化を体験することは、世界を知ると同時に自分自身を見つめ直すことにもつながり、視野を広げ、将来の可能性を広げます。

※新型コロナウイルスの影響により、2020年度の研修・留学は中止します。2021年度についても状況により中止となる可能性があります。

POINT① ホームステイで実際の暮らしに触れる

POINT② アメリカやカナダの歴史を直に体感

POINT③ 現地校生徒との交流を通して、英語力を磨く

POINT④ 現地コーディネーターとの連携で安心



	短期海外研修制度	ターム留学制度	長期留学制度
中学校	NEW アメリカ (ペンシルバニア) ●対象 1～3年生 ●期間 夏休み中の約2週間	NEW アメリカ (ペンシルバニア) ●対象 1～2年生 ●期間 12月下旬～2月(約2か月)	
高等学校	カナダ (ブリティッシュコロンビア) ●対象 1～2年生 ●期間 夏休み中の約2週間	NEW アメリカ (ペンシルバニア) ●対象 1～2年生 ●期間 12月下旬～2月(約2か月)	カナダ (ブリティッシュコロンビア) ●対象 2年生のみ ●期間 約1年間

未来への一步を進んだ卒業生

勉強も「もうひとつ」も両方を頑張りながら、目標とする大学への進学をつかみとった先輩たちをご紹介します!

一般入試 村田 翔

北海道大学医学部



人命に最も関わる仕事である医師を目指し、日々勉強を欠かしませんでした。



英会話の習い事をしていて部活動には入らなかったのですが、学校行事は充実した時間でした!

推薦入試 根本 愛梨

同志社大学
 政策学部政策学科
 (同志社大学キリスト教連携ネットワーク推薦)



分からない問題は都度、先生にお願いして解説してもらいました。



在学中、短期海外研修に挑戦!この経験をもとに、英語を活かせる職業に就きたいです。

推薦入試 野崎 衣美

青山学院大学
 教育人間科学部教育学科
 (指定校推薦)



北陸学院大学主催の英語暗唱コンテストに参加!表現する大切さを学びました。



発展途上国への支援ができる人になることを、卒業式で宣言しました。

月刊北國アクタス2020年7月号掲載記事

https://www.hokurikugakuin.ac.jp/sj/

Realize Your Mission
 あなたの使命を実現しよう